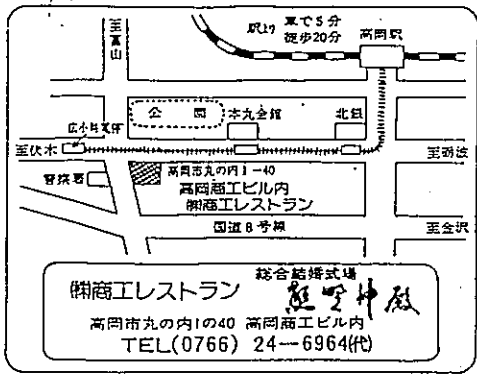


「ボランティアの集い」会場案内



日時 四月二十日(土)
 十八時三十分から二十時三十分
 場所 高岡商工ビル 一〇階
 高岡商工ビル内
 高岡商工レストラン
 国道8号線
 電話 0766-24-6964

ボランティアの集いの二案内

海王丸パークにも花の香りがあふれ、春らしくなってきました。穏やかな日も多く、何となくそわそわとした頃ですが、皆様いかがお過ごしですか。

さて、恒例のボランティアの集いを左記のとおり開催いたします。

新しいチャッサー、セカンドオフィサー、ボーンも登場します。大いに海王丸ボランティアの団結力を高めてもらいたいと考えています。ご多忙中かと思いますが、多数のご出席をお待ちしております。

新セイル完成

前回は案内いたしましたでしたが、この冬新たに2枚のセイルが完成し、三月十日(日)海王丸後部甲板にてセイル完成式を行いました。ボランティア代表としてセイル作成に精力的に参加下さった玉井文治さんからおあいさつをいただき、ボランティア代表者から財団へ完成した真つ白なアッパージェルンズ二枚が手渡されました。

お返しに勝山常務からボランティアの皆さんへ、海王丸から愛を込めてチョコレートのプロゼントを差し上げました。

当日は四十名を超す皆様の参加をいただき、完成式の前にロバンドの作成や、ステールを取り付けを手伝っていただきました。大勢のボランティアに祝福され、新しく縫いあがったセイルにとっては心強い誕生の日であつたと思います。改めて、セイルの作成にご協力いただいた皆様ならびに完成式にご参加いただきました皆様には、御礼申し上げます。

退任の挨拶

退任にあたって 上田 英夫

海王丸を離れる日が来ました。あつという間の二年間でしたが、この間皆様から暖かい励ましやご協力をいただきました本当にありがとうございます。

富山は初めての地でしたが、同じ北陸敦賀生まれの私にとって同じ古くから港町である新湊には故郷に帰ったような愛情をもって暮らすことができました。笛の音に誘われて獅子舞のあとをあたちこちとくっついて歩き、勝手の歴史の一端に触れたこと。また、立山から遠望した富士の雄大な自然。忘れることのできない思い出がいっぱいあります。その立山を背景に憩う四季折々の海王丸も見飽きることはありません。

現役時代、海王丸には常に百名近い実習生が生活し、活気にあふれていました。海王丸がこれからも生き続けた帆船であり続けるためには、単に保存整備を続けるだけでなく、元気にデッキを走り回る多くの人達の姿が不可欠です。実習生の頃よく大声で歌った海王丸船歌の最後の一節に「我が船ぞ、海王丸」とあります。恒久係留となった今、まさに「富山の船ぞ、海王丸」です。これからもどうか海王丸に命を吹き込み続けて下さい。

四月から銀河丸チャッサーとして乗船します。皆様との様々な交流を通じて得ました貴重な経験を船員教育の場で活かしたいと思います。お世話になりました。ごきげんよう。

最初、富山に来たときは、これからの二年間どうなるかと不安でいっぱいでした。が、今こうして振り返ってみると「本当に楽しかった」の一言に尽きます。

着任して間もない頃、元業務課員の釘本氏に言われた言葉がやけに心をよぎります。「セコンドオフィサー、半年もいれば帰りたいなくなるよ」まさにこの通りでした。私は富山が大好きになってしまったのです。

なによりも立山に日帰りできる山に登るのが好きな私にとっては素晴らしいことであり、このことは富山県が胸を張って誇れる事だと思っております。そしてスキーも日帰り十分できるのだから最高ではないでしょうか。私はあまり上達しなかつたけど、またボランティアのみなさまには、総帆展帆、石摺り等で大変お世話になると同時に楽しく作業をさせていただきました。

送別会も木当に楽しかったです。いただいた記念品たいせつにします。実は最後みんなて歌を合唱したときはこみ上げてくるものがあったのです。

これから私は海上勤務となり海に出ますが富山での2年間を決して忘れることはないでしょう。こうして文章を書いているのも2年間の出来事が頭をよぎっています。

最後に、これからも海王丸を宜しくお願ひします。皆さんの力で生き続ける海王丸であって欲しいと心から祈っています。機会があれば展帆に参加しますのでその時は笑顔で迎えてやって下さい。ではごきげんよう。

御礼状 網島 重胤

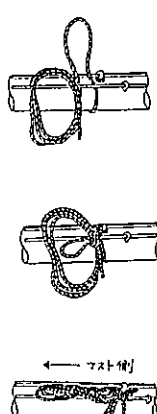
平成四年四月一日、初めてこの地に赴任した時、北アルプス立山連峰の雪を戴いた莊厳で雄大な山々の姿にしばらく忘れていた感動を憶えたのもつい昨日の事の様な気が致します。

月日のたつのは早いもの、あつと言う間に四年もの歳月が過ぎました。その間に大きな二つのイベントがございました。富山博と、平成六年秋より七年春にかけての海王丸建造以来の大改修工事に参加。一抹の不安もありましたが幸いにも優秀なスタッフに恵まれ、またボランティアの皆様の熱い想いに支えられ無事に終わることが出来ました。

この事は私の人生にとって大きな自信を與えて呉れたように思います。おそろしく海王丸がなければ住む事がなかつたであろうこの地、おそろしく万葉の歴史にチャッサーの地、恵まれた自然の観光地を楽しく廻る事が出来ました。

そして私なりに一生懸命やって来た海王丸の保存整備の採点は皆様のお気持ちのままに

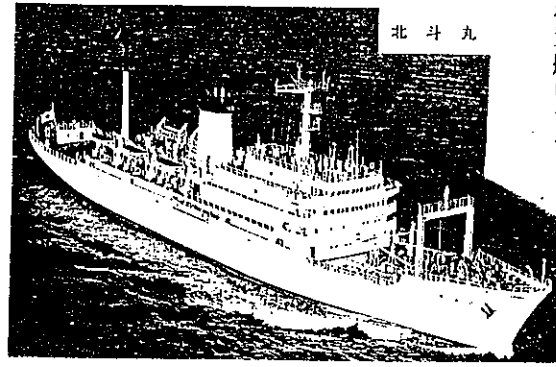
- おまかせ致します。皆様と共に過ごした楽しかった心の思い出はゆっくりと紐解く時もございます。心より厚く厚く御礼申し上げます。皆様のご健康を祈りつつ
- ①技術講座のお知らせ
 四月二十八日(日)の総帆展帆日、十二時三十分から操帆作業時必要となるガスケットの取扱いやギアの名称・配置などについて実地説明を行います。希望者は奮ってご参加下さい。
- ②ラメール定期購読の方へ
 ラメール三・四月号が届いています。財団事務所にてお渡しします。受け取りにお越し下さい。
- ボランティア練習会のご案内
 四月二十八日(日)の第一回の展帆が開始されますが、これに先立ち恒例の練習会を左記のとおり実施します。基本動作を確認し、安全に作業を進めるため、体慣らしの練習会には是非ご参加下さい。二回実施しますがごどちらかに参加いただければ結構です。
- 日時 一回目 四月 七日(日) 十三時から
 二回目 四月 十四日(日) 十三時から
 場所 第一研修室
 内容
 1300 説明、登しよう注意
 1330 トップボード越え
 1340 ゲルンボード越え
 1410 休憩
 1445 アッパートップボード渡り
 1500 ロイヤル・タッチ
 1540 ギア確認、操帆作業の注意
 1600 解散
 1620



船輪

北斗丸入港のお知らせ

四月十五日(月)一〇〇時、練習船北斗丸が伏木港に入港します。着岸場所等は未定です。詳細については業務課までお問い合わせ下さい。北斗丸は総トン数五千八百七十八トン、全長百二十四メートル、七千馬力の蒸気タービン機関の練習船で商船高等専門学校生・海員学校生百十四名の実習生を乗せ寄港します。出港は四月十九日(金)一〇〇〇時、小樽港向け離岸の予定です。(財)帆船海王丸関係者としては磯崎次席一等航海士が乗船中です。



北斗丸

ボランテアの投書欄として設けました。島さんから記事を読みましたので掲載いたします。皆さんの自己紹介、感じたことなどお待ちしています。

私と海王丸の出会

私は帆船海王丸が富山新港に入港当初より知ってはいましたが、でも、展帆ボランテアに参加しようとはひとつも思わなくて、ただ遠くより見て、美しい船だなーと眺めていました。その間に四年間が過ぎ、大阪に行くことになり、見られなくなり寂しくなるなーと思っていました。ところが富山新港に定置して停泊することになり、私も見るだけではなく帆をあげてみたくなり初めて来ました。そこで帆船海王丸記念財団の業務部に応募用紙をいただきました。応募用紙はさうとこの業務課の人の話により、応募用紙は私の心の中に少しの間泊まっていたので、もしばらくしてやっと決心をし応募用紙を出しました。

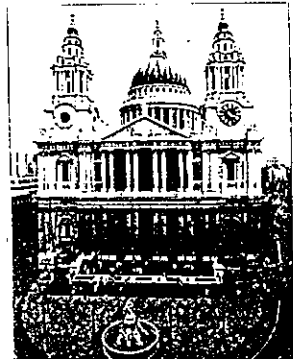
平成七年六月十日(土)晴、展帆ボランテア初めてのトレーニングを受けました。で

ロンドン探訪記 その四

阪本 義治

さて、いよいよロンドン探訪記も最後になりました。最後は私にとってカテイサーク、海事博物館の次に印象深かった場所セントポール大聖堂について書きたいと思えます。セントポール大聖堂と言えども、渦中のダイアナ妃とチャールズ皇太子が結婚式を挙げた所です。そこに行くまでは特に是非とも行かなければならない場所と言った程度でなく、時間も余ったので行ったという程度でなく、しかし、一歩足を中へ踏み入れると天井に描かれた壁画の見事さと迫力に心を奪われてしまったのです。中は静かでひんやりとしていて気持ちよく、椅子に腰掛けて20分程、壁画を眺めていました。見ていると自分が中世にタイムスリップしているような不思議な気分になります。ほんとに見ているだけでリラックスできるのです。ストレスを解消したければ行くべきだと思えました。

ロンドン滞在中の移動はほとんどバスで、車窓から眺める町並みは非常に心落ちつかせるものがありました。日本と比べて一番羨ましく思ったのが公園が大きくて広いということです。次は1カ月ぐらいたったらいよいよの長らく愛読していただいて有り難うございました。次回はシアトルより近況報告をいたします。



★セント・ポール大聖堂



寄稿 ボランテア番号302の武田さんから練習船海王丸の体験航海での航海記を寄稿していただきました。四回に分けて連載しますのでお楽しみにください。

東京からホノルル(平成七年五月十日)六日九日)まで約一カ月の航海でしたが、最初は遠洋航海に行くなんて考えてもいませんでした。一カ月もかけて船に乗るなんてとても無理だと思っていたのです。それでも国内体験の一週間くらいなら仕事も休めるだろうし、いいだろうと思いいました。それで申し込んだのが始まりです。平成六年十月十八日(十月二十二日)糸魚川から三田尻中関港までです。この航海にはシーパズの人も乗船していました。この航海での体験の素晴らしかったこと、乗組員、実習生、みんな生き生きと生きている、特に食事のおいしかったこと、これが大きな動機になっていました。これなら一カ月生活できるだろうと。

新海王丸に乗って

302 武田信幸

私はこのたび新海王丸での遠洋航海に行ってきた。しかも「あーこの航海はハワイ航路」です。(古い...)。

東京からホノルル(平成七年五月十日)六日九日)まで約一カ月の航海でしたが、最初は遠洋航海に行くなんて考えてもいませんでした。一カ月もかけて船に乗るなんてとても無理だと思っていたのです。それでも国内体験の一週間くらいなら仕事も休めるだろうし、いいだろうと思いいました。それで申し込んだのが始まりです。平成六年十月十八日(十月二十二日)糸魚川から三田尻中関港までです。この航海にはシーパズの人も乗船していました。この航海での体験の素晴らしかったこと、乗組員、実習生、みんな生き生きと生きている、特に食事のおいしかったこと、これが大きな動機になっていました。これなら一カ月生活できるだろうと。

下船してからもだんだんと気持ちのめり込んでゆきます。年が明けてすぐバスポートがないので取りに行きました。まだ申し込みをしていないのに、この航海はハワイ行きであることがわかり、即申し込みました。参加決定の通知が来たときは「ヤッター」という気持ちでした。

五月九日、集合日の前日に出発し、日本丸、ランドマークタワー等を見学し、晴海に宿泊しました。

さていよいよ五月十日、航海訓練所の事務所に九時三十分集合です。行って見て驚きました。ちよっと予想はしていたけれど国内体験で一緒だった顔が二人も見えてはありませんでした。一人は六五歳の男性、もう一人はなんとイギリスの新婚旅行から帰ってすぐという女性の日さん、なつかしさもあり、これからは先の一カ月余り、楽しみます。お互いに顔を合わせ「来ると思ってた」と言

合っていました。参加メンバーは全部で十七名、二名のキャプテンが八名、年齢は十八歳から五十五歳まで幅広い参加です。な、私がA班のリーダー、同じメンバーから参加の酒井氏がB班のリーダーとなりました。

この日はメンバーの自己紹介や諸説明等を受け、午後から水上艇「しんく」で海王丸に乗船となりました。ハワイに向けての第一歩の始まりの日です。ハワイに向けての第一歩の始まりの日です。積込みなどをし、食料、買物(買残し等少しあるため)等を行いました。

五月十二日、待ちに待った出航です。ミネシヨンの取外し(前夜見た夜の海王丸はきれいでした)等準備で大忙しです。有明の港では実習生を送るための横断幕がいくつも横断幕にかかり、見送りの人も徐々に増えてきます。そんな中で富山にいた藤井さん、お目にかかりました。

午後二時〇〇分、出航。ゆっくりと横断幕を離れていくのをながめながら「あー、これで途中下車(船)はできないのだな」と思いつながら、不安と期待が入り交じった複雑な気持ちで港の見送りの水上艇など見送っていました。

海王丸では実習生による登橋礼があり、キ・ゲ・ン・ヨの声で見送りの人々に別れを告げます。(つづく)

海王丸体験乗船の予定表と海星のスケジュールを同封いたします。申し込み等で不明な点は業務課まで問合わせて下さい。

お彼岸を過ぎてから穏やかな日々が多くなりました。が、のどかな海王丸が歩いていると、ふっと一年前にも同じようなことを感じた気がしました。一年前船輪に「全身で四季を感じてみたい」と書いたのですが、この時期は本当に喜びを感じました。我が家でもベランダに植えたチューリップがズン、ズンと伸びてきて、それを眺めるのが日課となりました。それだけでなく、三月の陽気は暖かかったです。それだけでなく、ヤードにセイルがはさって、始動の日を待つばかりとなり、四月からは新しいメンバークラスも加わります。皆さんの新しい笑顔に会える日を楽しみにしています。

船輪も創意工夫を凝らしてお待ちしています。皆さんのご意見や記事をお待ちしています。

DODDO

